

ひろしま

ノウ フク

農福コンソーシアムひろしま

agenda

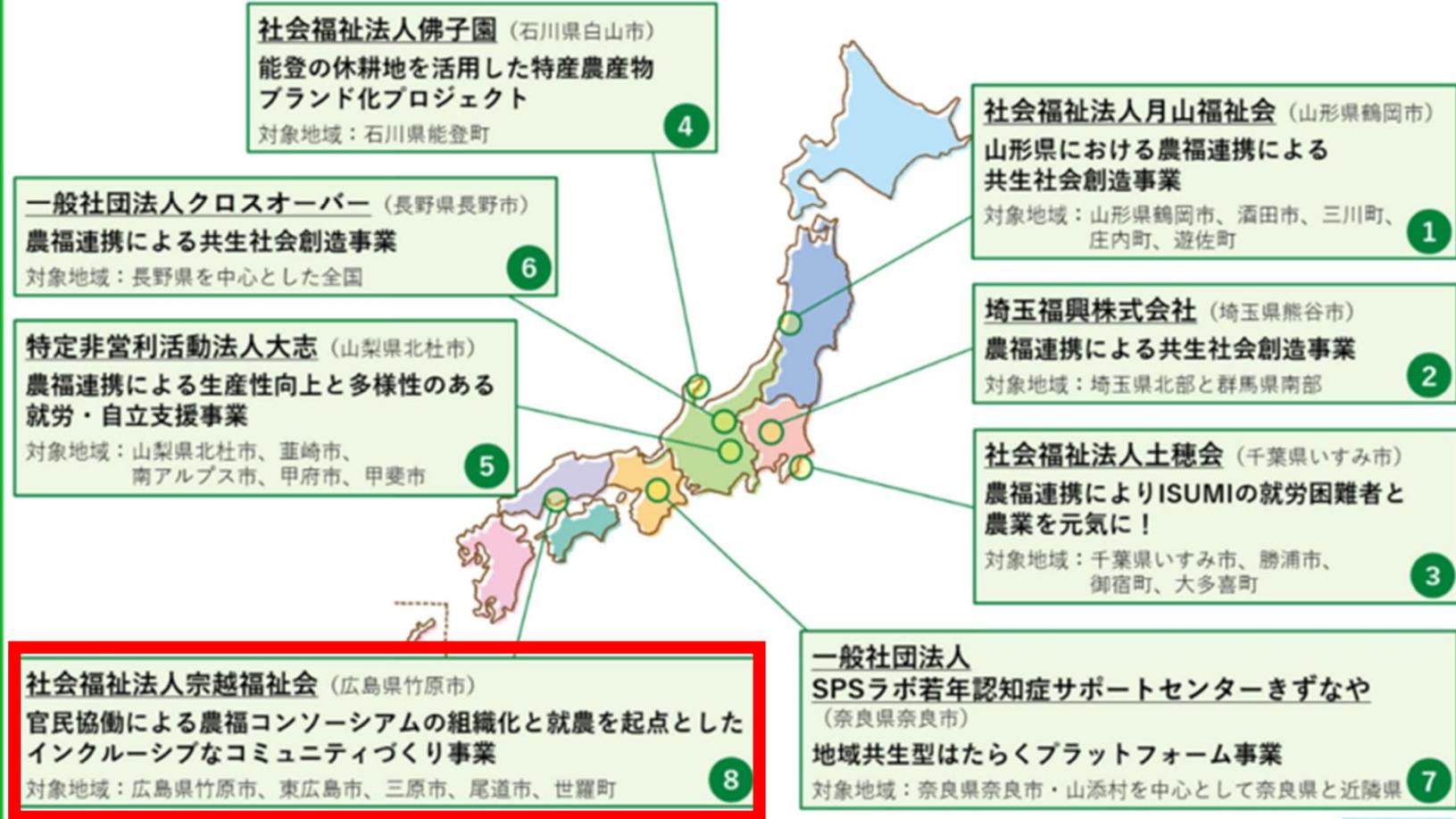
農福コンソーシアムひろしま

- ・ 設立趣旨
- ・ 活動内容
- ・ 活動成果
- ・ 今後の活動

コンソーシアム設立にあたって

農福連携による共生社会創造事業

採択事業



中長期計画

1. 多様な人材が活躍できる環境整備

就労困難者にとって農業が有力な就労の選択肢となり、就労環境が整備され、一緒に働く人も全員が生き生きと就労できている。

2. 農福連携に取り組む組織の拡充

福祉法人以外の多様な組織が農業との関わり（就農・加工所等）を支援する活動が、地域に定着している。

3. 農福連携による事業化の実現

農福連携の事業収益が向上、継続的な雇用維持、新規就労者の拡大等が図られ、当該事業が経営的に自走している。

4. 農福連携による地域共生社会の実現

農福連携の取り組みが広く認知され、農作物の購入やボランティア活動等に地域企業、学校、住民等が積極的に参画している。

コンソーシアムの活動内容

3カ年計画目標（2027年2月まで）

生きづらさを感じている者が気軽に相談できる相談窓口を開設する。コンソーシアムとして自治体との連携

目標値

新規相談件数：年間100件

コンソーシアム会員の農業事業者と福祉法人の農福マッチングを行う。

目標値

新規就労マッチング：年5件

農福リーダーが主体となり研修会や情報交換会を開催する。

目標値

研修会・情報交換会4ヶ月ごと開催（対面orオンライン）

参加者：50名

（コンソーシアム会員・一般参加）

福祉事業者・農業法人・民間企業や個人が参加するコンソーシアムを設立する。

目標値

参加法人：150法人

実施主体：15法人

協力法人：10法人

コンソーシアムの情報発信のためにホームページを開設する。また、各年度の活動のまとめを会報紙として発行する。
各年度終了ごとに総会を開催し活動報告を行う。

目標値

ホームページ：月間PV10,000PV

会報紙：年1回発行

総会：年1回開催

講演会：総会開催時に同時開催

講演会参加者：100名

コンソーシアムへ参加する農業事業者の作業分解をすることでコンソーシアムへ参加する複数の福祉法人がそれぞれの役割請負い生産性が向上する。
（分解型マッチング）

目標値

収益性5%向上

農福マルシェを開催し農福連携商品の販売を促進する。

目標値：年2回開催

民間企業と連携しコンソーシアムのネットワークを通じ農福商品の販路を拡大させる。

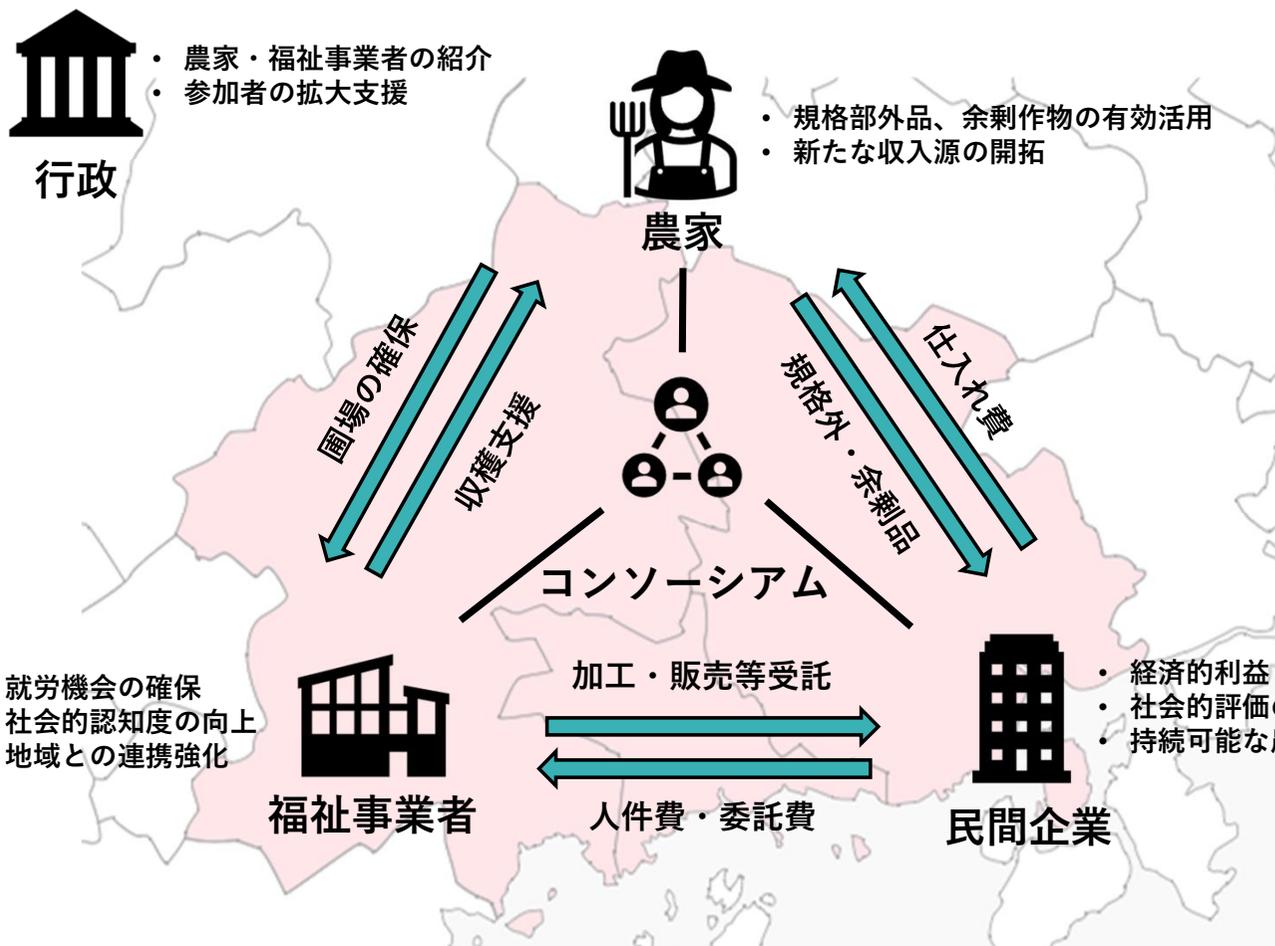
農福連携商品の販売拡大に向け、コンソーシアムの連携にて商品を開発する。

目標値：年4商品開発

農福コンソーシアムひろしま

農家の人材不足や食品ロスを農福連携により解決し、収穫した作物を民間企業と連携し収益性の向上を図るコミュニティを構成する。活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。

令和6年8月8日設立



コミュニティの目的

対象地域の活性化

- 子ども、女性、高齢者、障がい者などが共に支え、共に生活できるまち作り（地域共生社会）
- 就労支援やマッチングによる働く場を作る

農福産品の普及・啓発

- 農福連携による新商品の開発、販路開拓

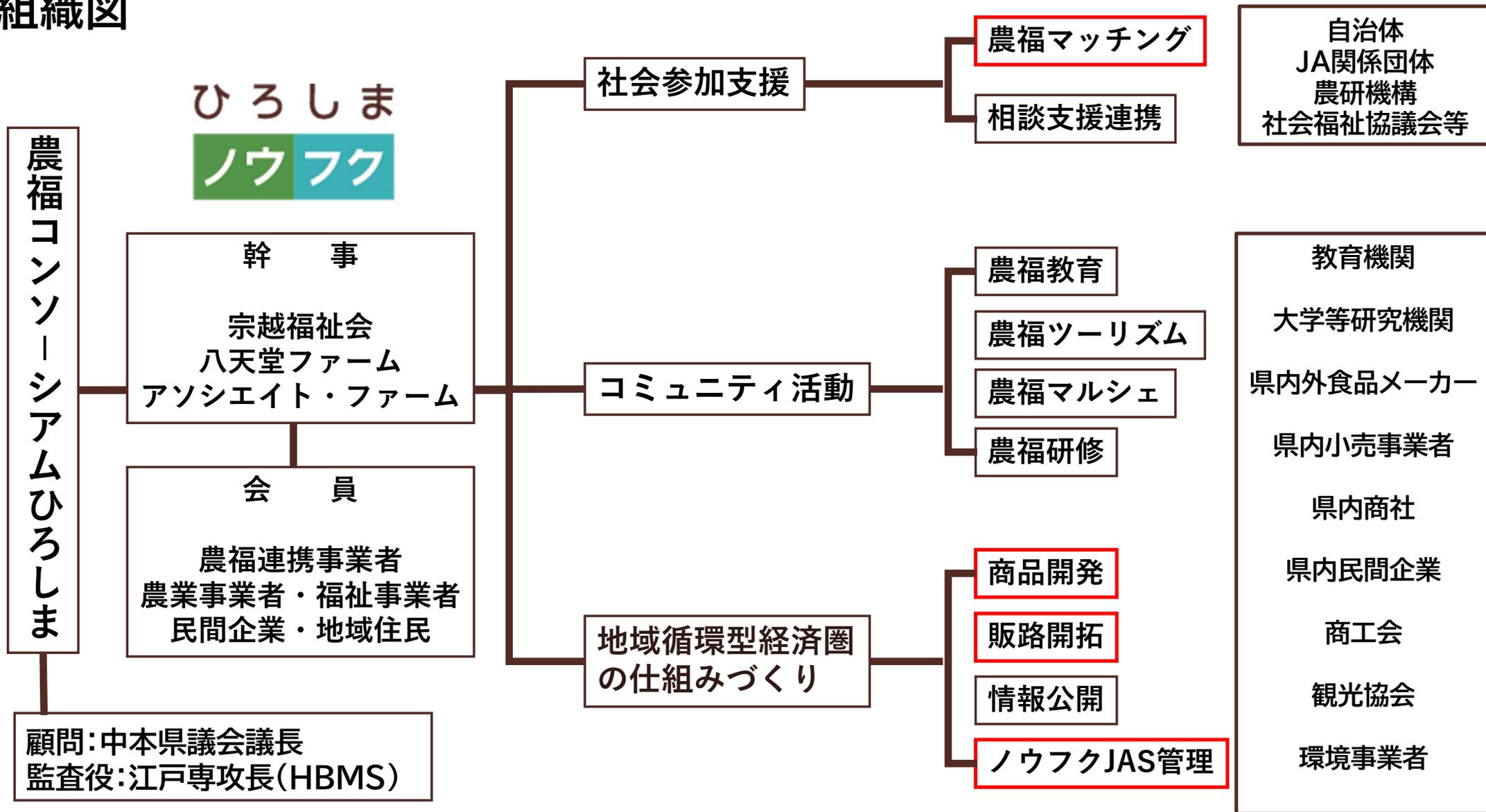
地域交流や農業研修の促進

- 収穫体験や販売会、収穫祭などによる交流の場
- 共生社会に向けた勉強会
- 農業研修による人材育成

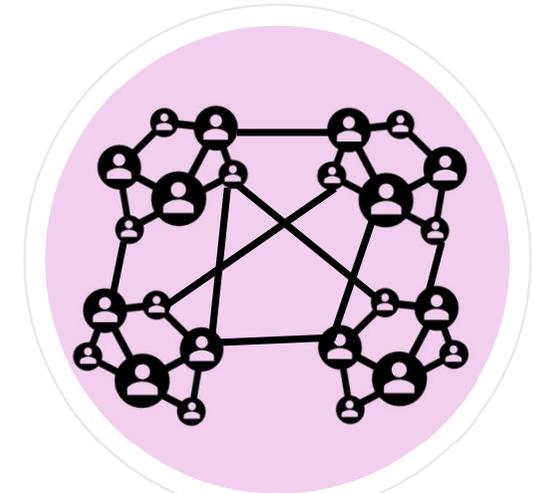
地域産品や事業活動の情報発信

- コンソーシアム参加者の情報集約、発信
- 収穫状況やイベントの告知

組織図



農福コンソーシアムひろしま 3 年計画



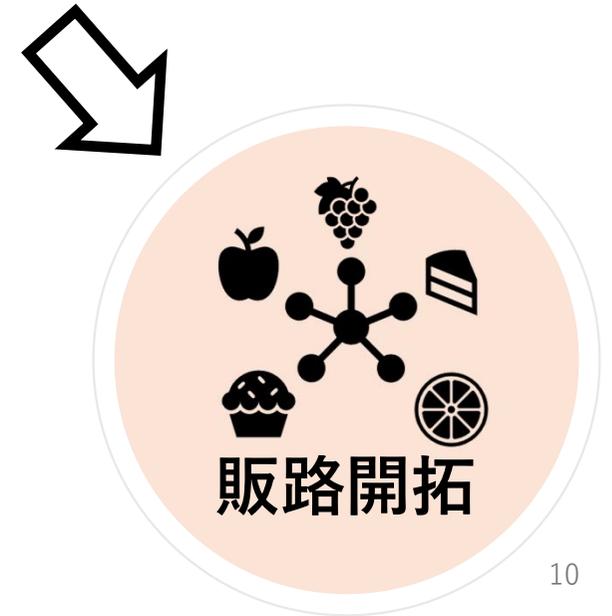
ネットワーク構築



農福マッチング



社会参画



販路開拓

コンソーシアムの活動実績

農福コンソーシアムひろしま 会員総数 34 会員

(令和8年1月1日現在)

会員内訳

福祉事業者 8 会員

農家・農業事業者 7 会員

民間企業 16 会員

教育機関 1 会員

個人 2 会員

ホームページ開設

農福連携 広島

すべて ニュース 画像 ショッピング 動画 地図 ショート動画 もっと見る

ノウフクひろしま
https://noufukuhiroshima.com

ノウフクひろしま

わたしたちは、農福連携の広がりや市場の開拓を目的に設立されたコンソーシアムです。わたしたちは、農業を起点に域内外での調達から生産、加工、流通、消費が循環する持続可能な...

広島県公式ホームページ
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/hiroshima-noufuku

農福連携の取組支援に係る障害者就労施設等への農業... - 広島県

2025/06/02 — 農福連携とは、障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組のことです。農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくり...

AIによる概要

広島県では、農業と福祉が連携し、障害者の就労を促進する「農福連携」の取り組みが進んでいます。具体的には、障害者就労施設への農業専門家の派遣、農作業の施設外就労（請負）、農産物の加工・販売支援などが行われています。また、農福連携で生産された農産物を販売するマルシェも開催されています。

広島県における農福連携の主な取り組みは以下の通りです。

農業専門家の派遣:

障害者就労施設等に農業の専門家を派遣し、栽培技術や加工・販売に関する指導・助言を行います。

施設外就労（請負）の推進:

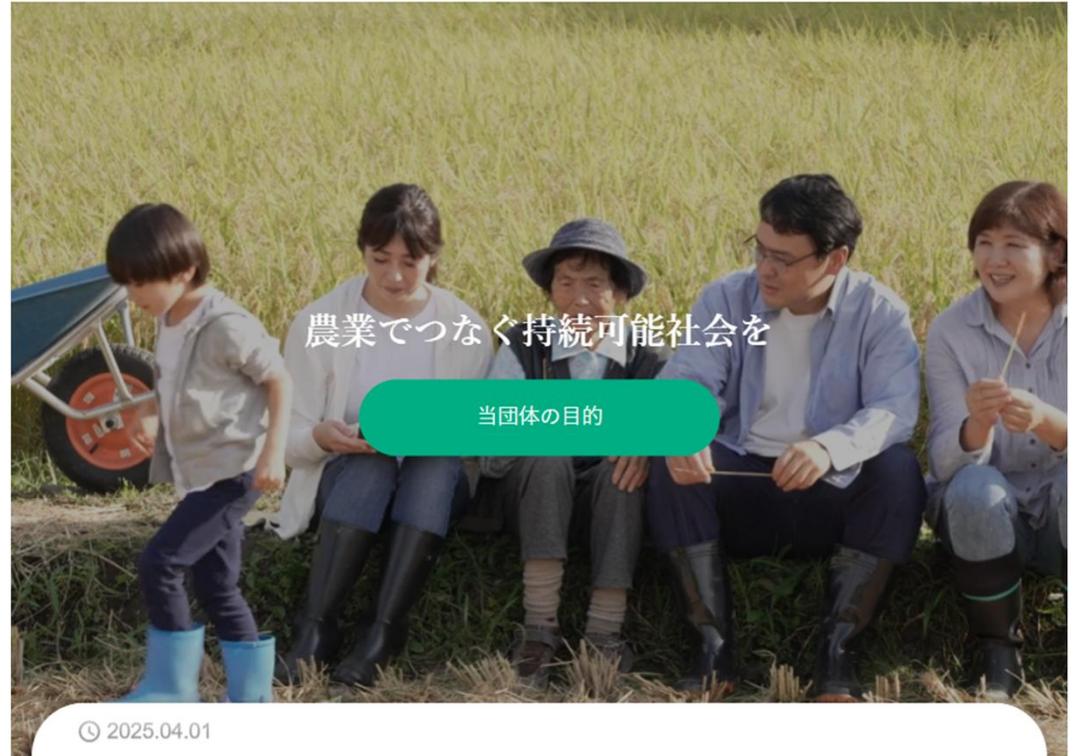
もっと見る

広島県公式ホームページ
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/noufuku-kyoutei

農福コンソーシアムひろしま、広島県及び3市との協定締結



ひろしま
ノウフク



農業でつなぐ持続可能社会を

当団体の目的

2025.04.01

郡会報告：広島銀行 本店にて販売会を行いました

わたしたちは、農福連携の広がりや市場の開拓を目的に設立されたコンソーシアムです。

わたしたちは、農業を起点に域内外での調達から生産、加工、流通、消費が循環する持続可能なネットワークの創造を支援し、地域共生社会の実現に貢献致します。

コンソーシアムとしてノウフクJAS取得 (2024/9/9)

ノウフク JAS ブランド (規格)

社会的な価値



||



SDGsとは
「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに達成すべき国際社会の共通目標。「誰も置き去りにしない」というスローガンのもと、17の大きな目標と、169の具体的なターゲットが掲げられている。SDGsでは、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す。

既存のブランド (規格)

モノの価値

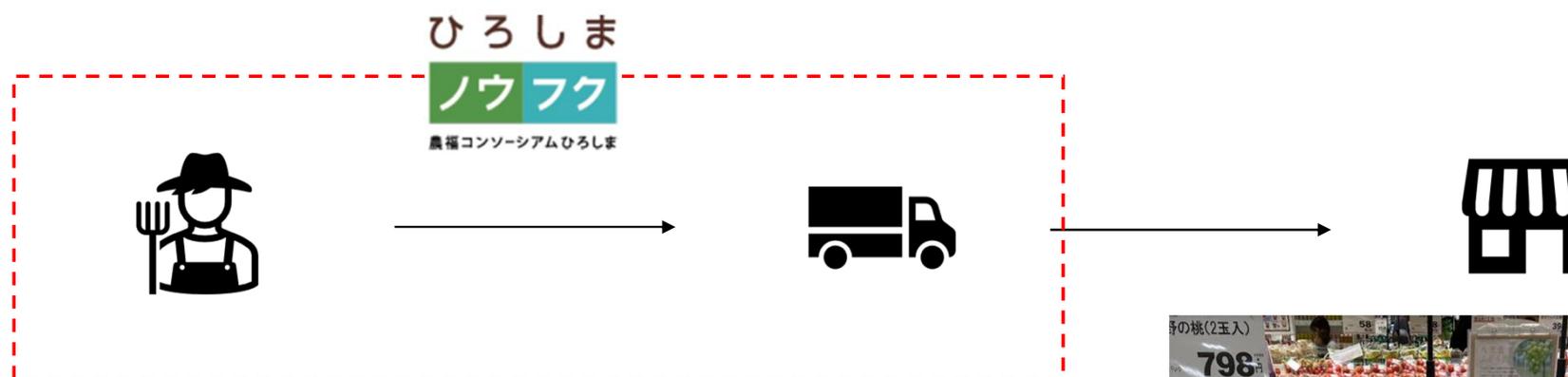
〈品種〉	〈生産地〉	〈生産手法〉
		
ふじ等	津軽産等	有機栽培等

ノウフクJASブランドは、想定する6つの項目でSDGsの目標の達成に貢献できます!

- 3: すべての人に健康と福祉を
- 8: 働きがいも 経済成長も
- 10: 人や国の不平等をなくそう
- 12: つくる責任 つかう責任
- 15: 陸の豊かさを守ろう
- 17: パートナリーシップで目標を達成しよう



コンソーシアム加盟農家から調達・販売



SMILE-LABOのいちご調達・販売



八天堂ファーム
HATTENDO FARM

「スマイルラボ」の
イチゴ in 三原市大和町

甘いイチゴになるように丁寧に栽培しています。
想いのこめて育てたイチゴを
是非ご賞味ください。



ノウフクJASとは

2019年に制定された日本農林規格「ノウフクJAS」の正式名称は、「障害者が生産工程に携わった食品及び観賞用の植物の農林規格」といいます。その本来の主旨は、「みんなが地域の一員となり、一緒になって地域を作っていく」取組を評価するというものです。

ひろしま

ノウフク

農福連携で育てられた製品の生産拡大に貢献するために、農福連携及びノウフクJAS認証の普及と加工食品の開発・販路開拓をコーディネートするプラットフォームです。

三島食品ひろしの原料として広島菜栽培



「ゆかり」は三島食品株式会社の登録商標です。

- アソシエイトファーム保有の圃場約80aで栽培
- 秋に初収穫予定（12トン）

河内圃場



混ぜごはんの素

ひろし®
Napa Rice Seasoning

希望小売価格（税抜）

130円

内容量

16g

商品特徴

広島を代表する食材「広島菜」の素材の良さを生かし、彩りよく仕上げた混ぜごはんの素です。

賞味期間

365日

JANコード

4902765000560



使用方法

お茶碗1杯(約150g)分のごはんに本品小さじ1杯(2~2.5g)を目安に混ぜ込み、やわらかくなるまでむらしてからお召し上がりください。

原材料名

塩蔵広島菜【国内製造】、食塩、砂糖、調味料(アミノ酸等)、水酸化カルシウム



資料提供
 令和7年1月10日
 課名 農林水産総務課
 担当 和久井
 内線 3510
 直通電話 082-513-3510

中国・四国初！農福連携による新ビジネスモデルの構築を支援
 ～県と3市が農福コンソーシアムひろしまと協定を締結～
 ■日時：1月16日（木）9:30-9:50
 ■場所：県庁北館1階第一会議室

農業を通じた、障がい者等の社会参画の支援や持続的な農福連携事業の確立による地域共生社会の実現に取り組む「農福コンソーシアムひろしま」と、県、竹原市、三原市及び東広島市は「農福連携による地域共生社会実現に関する協定」を締結いたします。

「農福コンソーシアムひろしま」は、社会福祉法人宗越福祉会、(株)八天堂ファーム、アソシエイト・ファーム(株)の3者が幹事となり、農福連携を通じ地域の課題解決のために設立されたコンソーシアムであり、農福連携を目的に、自治体に参加し、市町の範囲を超えた広域での協定の締結は、中国・四国地方では初となります。

【協定締結式】

日時：令和7年1月16日（木） 9：30～9：50

場所：広島県庁 北館2階 第1会議室

出席者：	広島県知事	湯崎 英彦	竹原市長	いまま としひこ 今業 敏彦
	三原市長	おかだ よしひろ 岡田 吉弘	東広島市長	たかがき ひろのり 高垣 廣徳
	農福コンソーシアムひろしま		代表	いとう だいご 伊藤 大悟

【農福連携とは】

障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。農福連携に取り組むことで、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

【「農福コンソーシアムひろしま」での取組】

農業と福祉の連携を主軸に、行政機関、社会福祉法人、非営利法人、民間企業、研究・教育機関など、多様な主体が協働する官民ネットワーク組織です。

市町の枠を超えた広域的な取り組みを通じ、「多様な人々への就労・社会参加支援」「インクルーシブなコミュニティづくり」「地域循環型経済圏の構築」を達成にむけ取り組んでいきます。

【県が期待する効果】

- ・多様な人材の活用による新たな働き手の確保
- ・障がい者等の就労や生きがいづくり
- ・農作物の規格外品等の活用
- ・耕作放棄された樹園地や畑の活用
- ・地産地消の推進 等

多様な組織の連携による農福コンソーシアムひろしまの様々な活動が、広島県の今後の中山間地農業等における課題解決に貢献することを期待しています。



果実なきモチ 赤ぶどう・ウイングいちご



新商品開発



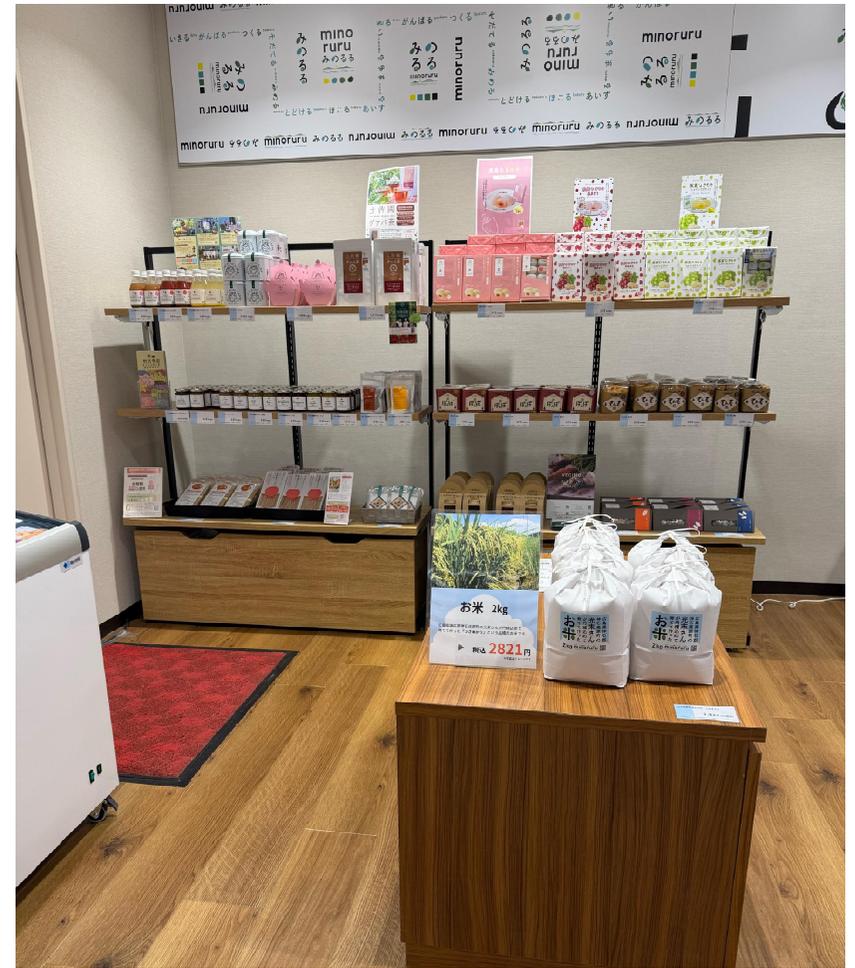
※写真はイメージです

展示会・催事出店

- 2025/1/22-23 旭食品展示会
- 2025/2/18-19 三菱食品業務用展示会
- 2025/3/12 中国四国農政局庁舎前
- 2025/3/21 広島銀行本店
- 2025/3/29-30 八天堂ビレッジ
- 2025/4/12 中尾醸造



小谷サービスエリア下りにてアンテナショップOPEN（2025年12月）



ノウフク体験イベント（2025年12月） ふぁ～む to て～ぶる in シトラスパーク



ノウフク体験イベント（2025年12月） ふぁ～む to て～ぶる in シトラスパーク



ノウフク体験イベント（2025年12月） ふぁ～む to て～ぶる in シトラスパーク



ノウフク体験イベント（2025年12月） ふぁ～む to て～ぶる in シトラスパーク



今後の取り組みについて

- ・引きこもり予防に向けた体験就農・体験収穫
- ・広域連携による農福マッチング
- ・会員同士の連携拡大
- ・農福ツーリズム・農福教育の実施
- ・3ヵ年評価・令和9年度以降の活動指標設定